

# 大久保病院だより

No. 24  
平成28年  
12月1日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684

Post introduction

## 部署紹介

### 2階南病棟



2階南病棟は、一般病棟にて急性期症状を脱して、病状が安定した患者様が、時間をかけて維持回復、さらには元の健康状態に近づけるように、療養生活を送っていただくための療養病棟となっています。看護師・介護福祉士・看護助手の3職種が協力し、患者様・ご家族様に安心して療養生活を送っていただける様に、環境を整え、看護・介護・ケアの充実に努めています。

患者様の交流の場として、お食事はフロアで集合して召し上がって頂いたり、音楽に合わせて嚙下



体操を行ったりしています。また、少しでも入院生活の中で楽しく癒されるひと時を感じて頂けるよう、季節ごとのイベントやレクリエーションを企画し運営しています。

入院中から退院まで、リハビリ訓練、栄養指導、看護ケア指導など、在宅復帰・転院・施設入所等への退院方向に合わせて地域連携室スタッフと連携を取り、多職種チーム一丸となって支援しています。



### 当院の病床内訳

病棟名	施設基準	病床数
2階北病棟	7対1入院基本料(DPC)	47
3階北病棟	7対1入院基本料(DPC)	47
3階南病棟	地域包括ケア病棟入院料1	48
2階西病棟	緩和ケア病棟入院料	18
2階南病棟	療養病棟入院基本料1(在宅復帰機能強化加算)	39
合計		199

## 地域医療内科のご案内

地域医療連携室・医師 古谷 裕道



地域の医療機関、福祉施設、住民の皆様が、より便利に、より早く当院を利用していただく事が出来るように、地域医療連携室専任の総合内科医として大久保病院に勤務することとなりました。

### 総合内科医として

私は20年ほど前より、地方にて包括医療(健康診断、疾患発症予防、病状の進展予防、健康増進、生活の向上)を学んできました。そこでは自治体の福祉担当課と行動を共にし、時には家庭に出向き、診察、健康管理、相談、必要なものを届ける等、医療だけでな

く生活の支援を行うことが地方の中核病院の役目でした。ところが都会では、それぞれが独立し、別々に行動しており、不便な面もあります。そこで、それらを有機的に結び付けて、仲介、支援していくことが非常に重要な仕事となり、それが地域医療連携室の役目だと思います。

### それぞれの専門性を活かして

そのため、地域医療連携室に、医師、看護師、社会福祉士(MSW)、事務職員を配置し、それぞれの専門の立場から相談に応えられるようにしております。

受診相談、入院相談、施設入所の相談等、大久保病院の近隣の病院、診療所、施設等々との連携を綿密に行っていくことが重要と考えております。

病院玄関近くに地域医療内科の部屋を設置いたしましたので、医療関係者の皆様に立ち寄っていただければと思います。患者様の診察、家族様との面談等、多目的に利用できる部屋として考えております。なにぶん新しい試みですが、どんなことでも構いませんので、連絡いただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。



地域医療連携室 Tel.078-935-2680

特定医療法人 誠仁会  
**大久保病院**

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1

tel.(078)935-2563

<http://www.seiinkai.or.jp/okubo/index.html>



### 交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
- 「大久保」駅北口より神姫バス  
②のりば 19「山手台」行き  
③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

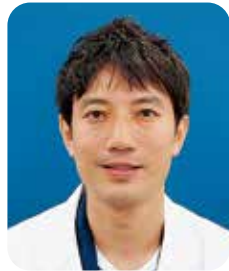
### 車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分





## 新任医師紹介



たかひろ  
整形外科 石井 崇大

市立伊丹病院 整形外科科部長を退職し、本年7月に、大久保病院 整形外科脊椎外科部長として赴任しました。佐賀医科大学を卒業後、平成10年に大阪大学整形外科に入局し、脊椎治療に特化した整形外科医として、診療をしてまいりました。

こし(腰椎)や、くび(頸椎)をはじめとした脊椎の疾患でお困りの患者さまが一人でも少なくなれば！という思いで、このたび、「明石脊椎外科・腰痛センター」を開設致しました。これまでの経験を活かし、質の高い医療を提供することにより、患者さまが日常生活をより快適に送るお力になればと考えています。



放射線科 野田 靖文

本年4月に大久保病院放射線科に赴任いたしました野田と申します。平成19年に岡山県の川崎医科大学を卒業し、同大学附属病院にて主にCT、MRIの読影を行っておりました。

直接皆様方とお会いする機会は少ない分野ではありますが、読影業務を通じて大久保病院の各診療科医師を陰ながらサポートさせて頂きながら、地域の皆様方のお役に立てるよう一層の努力を重ねる所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

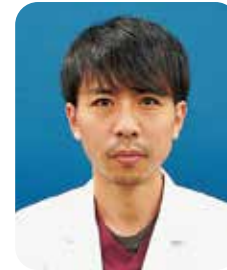


整形外科 多門 和一

本年4月に整形外科に赴任しました多門と申します。これまで兵庫県内の基幹病院や全国有数の手術実績のある滋賀脊椎センターに勤務してきました。整形外科は学生時代からの志望であり、現在も第一線で活躍できることは幸せです。

外科医としては最新の手術法もお話しますが、大久保病院はリハビリが充実しており、積極的に運動療法もお勧めします。体の不調は別の原因で起こることもあり、リハビリで初めてわかることも多いのです。

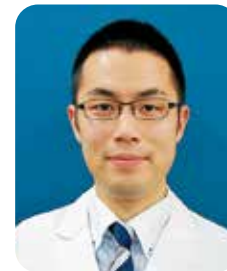
私自身も20年、腰椎椎間板ヘルニアで苦勞しており、同じような痛みやしびれがある患者さんは全て治したいと思っています。本当に勧められる治療とは、自分や家族が受けたいと思えるような方法です。それを最後まで納得できるよう説明します。患者さんの治す力と私たちの力が重なり、相乗効果となればこれほど嬉しいことはありません。外来では時間が限られていますが、どうぞ自分の言葉でお話してください。熱意と懇親丁寧な治療ができるように、これからも邁進していく所存です。



消化器内科 江田 裕嗣

本年4月に、大久保病院 消化器内科に赴任しました江田と申します。兵庫医科大学を卒業後、平成24年に兵庫医科大学 内科学 消化管科に入局し、同大病院や関連病院にて消化器疾患や食道癌、胃癌、大腸癌の内視鏡検査治療や化学療法を中心に診療をしてまいりました。

これまでの経験を活かして、地域の皆様や近隣の先生方の少しでもお役に立てればと頑張っていく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



スポーツ内科・婦人科(非常勤) 田中 祐貴

本年6月より大久保病院にてスポーツ内科・婦人科の診療をしている田中と申します。

私は、全国でも珍しいスポーツ内科医です。スポーツ内科なんて聞いたことがないという方がほとんどだと思いますが、アスリートはスポーツ貧血や無月経などのスポーツ内科・婦人科的な問題を抱えていることが少なくありません。そのような問題を診断・治療することが私の専門であり、地域のアスリートのパフォーマンス向上に貢献していきたいと思っております。老若男女・競技レベル問わず、不調を感じたり、記録が伸び悩んだりしているアスリートがいらっしゃれば、気軽にスポーツ内科外来を受診してください。

※スポーツ内科・婦人科の詳細情報は、大久保病院ホームページよりご覧ください。



院内薬局では、主に病院内で使用する薬の安全な供給、適正使用に関する業務を担っており、患者様・ご家族様はもちろん、医師・看護師をはじめとする職員が正しく薬を使用できるよう、指導、説明等を行っています。

入院される方は何らかの薬を使用されている場合がほとんどですので、その薬と新たに処方された薬の飲み合わせに問題がないかを確認したり、手術目的での入院の場合は、血液を止まりにくくする薬を飲んでいるかの確認をします。

また、抗がん剤の使用においては、医師と共に、投与量の設定、患者様への副作用等の説明、無菌化



での混注等を行い、患者様の不安を取り除き、安心して治療を継続できるよう心がけています。

最近では使用にあたって注意が必要な薬も増えてきており、その際は、医師への処方提案や、看護師等への使用前の説明を行い、注意喚起しております。

今後も患者様が安心して薬を使用できる環境作りをしていきたいと考えております。